

Osaka University of Economics and Law

# 校友会報

vol.16

2011年6月30日発行

大阪経済法科大学  
Osaka University of Economics and Law



## Contents

02-03 | 大阪経済法科大学校友会総会・懇親会案内  
オープンキャンパス2011

04-05 | 母校の近況

06 | キャンパスニュース

07-09 | 活躍する卒業生  
濱田剛史高槻市長(法学部13期生)

10-13 | 事業報告

14-15 | 2010年度決算書／2011年度予算書

16 | 第7期大阪経済法科大学校友会役員  
新常任幹事メッセージ  
校友会Q&A  
事務局だより

# General Meeting Information

総会・懇親会案内

## 2011年度(第13回)大阪経済法科大学校友会総会・懇親会



### 校友会総会・懇親会の開催にあたって

全国の校友の皆さんこんにちは! 2011年度の校友会総会・懇親会実行委員会委員長を務めております、八瀬林肇です。

今年も本学卒業生が一同に集う校友会総会・懇親会の季節を迎えました。

本年40周年を迎えた母校は、今年2月に学生ホール棟「クロノス」が竣工されました。また、11月には近鉄八尾駅前との絶好のロケーションに位置する八尾駅前キャンパスの竣工が予定されているなど、現在もさらなる飛躍を成し遂げようとする道程にあると言えます。

実行委員会では、母校の創立40周年を記念して、校友の皆さまの在学時の思い出がいっぱいつまった花岡キャンパスにおいて、オープンキャンパスとの同日開催により実施することと相成りました。

参加していただいた校友の方々に、共に学生時代を過ごした校友との再会による喜びとともに、近年の母校の著しい発展を直接目にしていただき、母校の「現在(いま)」を体感していただけるよう、実行委員を中心に、鋭意準備を進めています。

夏の暑い盛りではございますが、どうか、校友、ご家族、ご友人をお誘いの上、緑眩しい花岡キャンパスにお越しください。

一人でも多くの校友の方々とお目にかかれまことを心よりお祈りしております。



八瀬林肇実行委員会委員長  
(校友会副会長・法学部6期生)

懇親会参加費 お一人 3,000円 ご家族同伴の校友はお一人分の参加費でお越しいただけます。※2011年3月卒業の校友は無料でご招待します。

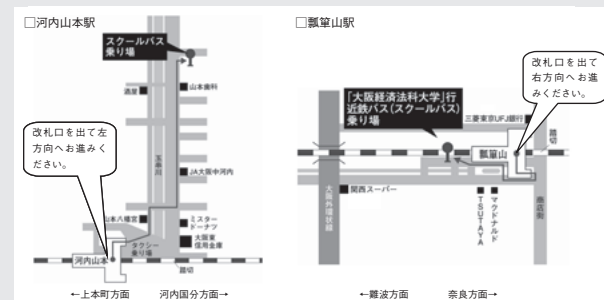
### 交通アクセス

#### 【スクールバス時刻表】

|      | 河内山本駅→大学行   | 瓢箪山駅→大学行   |
|------|-------------|------------|
| 10時台 | 10分、30分、50分 | 5分、25分、45分 |
| 11時台 | 10分、30分、50分 | 5分、25分、45分 |
| 12時台 | 10分、30分、50分 | 5分、25分、45分 |
| 13時台 | 10分、30分、50分 | 5分、25分、45分 |
| 14時台 | 10分、30分、50分 | 5分、25分、45分 |
| 15時台 | 10分、30分、50分 | 5分、25分、45分 |

※16時以降も、スクールバスを随時運行します。

#### 【スクールバス乗り場】



日時: 2011年7月30日(土) 13:00~19:30

会場: 大阪経済法科大学花岡キャンパス 学生ホール棟「クロノス」

### ■卒業生トークセッション／オープンキャンパスとの共同プログラム

近年、卒業生の活躍ぶりが受験生の大学選びをはじめとした大学の社会的評価として注目されています。

本学はどのような卒業生を輩出してきたのでしょうか。オープンキャンパスに参加する高校生や保護者の方々に、トークセッションと特別講演を通じて、公務員や公認会計士、大学院進学者など、本学卒業生の社会の様々なフィールドでの活躍ぶりをご確認いただけるよう企画しました。校友の皆さまも同窓の活躍ぶりにご注目ください。

#### PartI 卒業生トークセッション 13:00~13:40

「わたしの大学生生活とキャリア形成 ～夢を実現するためのストーリー～」(仮称)

#### PartII 特別講演 14:00~14:40

市長から高校生へ贈るメッセージ ～若者の夢とチャレンジを応援するまちづくり～(仮称)

講演者: 濱田剛史高槻市長(法学部13期生 弁護士)

※濱田高槻市長のインタビューが、今号の7~9ページに掲載されています。是非ご一読ください。

### ■在学生によるキャンパスツアー／オープンキャンパスとの共同プログラム

在学生が思い出の花岡キャンパスを案内いたします。学生時代の懐かしいキャンパスと在学時とは異なる新たなキャンパスの両面に触れ、母校の発展を実感することができます。(随時実施)

### ■総会 15:30~16:30

花岡キャンパスの新しいランドマークとなった学生ホール棟「クロノス」で、総会を行います。会場となる3階プレミアムホールガリオンは、在学生からの公募により命名されました。数々の最新機器を備えたガリオンは、授業や課外活動など様々な目的・形態で活用されています。

総会では、伴井敬司会長より、本会事業の現状と今後の展望について、校友の皆さまにご報告いたします。続いて、藤本和貴学長より、母校の近況についての報告がございます。

また、今年度の総会では、この度の東日本大震災により被災された校友への支援をテーマに、被災校友からのメッセージをご紹介します。今後の取組の方向性や内容について確認いたします。

### ■懇親会 17:00~19:30

開放感溢れる学生ホール棟「クロノス」1階のキャンパスレストランでの食事を楽しみながら、校友間での交流をお楽しみください。懇親会では、在学生による企画や卒業生と在学生とのコラボ、そして素敵な景品が当たる抽選会などを準備しています。是非、ご家族、ご友人をお誘いの上、ご参加ください。

### オープンキャンパス2011 好評開催中!

大阪経済法科大学では、大学の魅力・特徴などを広く高校生、受験生、父母・保護者の皆さまにご理解いただくため、今年も計7回のオープンキャンパスを開催いたします。

今年のオープンキャンパスでは、スペシャルイベントとして「行列のできる法律相談所」でおなじみの本村健太郎さん(弁護士)や「ホンマでっか!?TV」でおなじみの植木理恵さん(心理学者)を講師にお招きした特別講演会や、本学教員が楽しく、分かりやすく説明する経済学部・法学部の体験授業、先輩学生がキャンパス内を案内するキャンパスツアー、各種入学試験の説明会等、多様なプログラムを用意し、皆さまをお迎えします。

オープンキャンパスプログラムの詳細については、大学ホームページの内容をご確認ください。



## 建学の理念

### 「経済と法律、二つの学問の修得による人格の形成」 「実学の精神を持った人材の育成」 「人権の伸長と国際平和への貢献」

建学の理念は、創立者金澤尚淑博士の信念に基づくものです。金澤博士は、経済学と法学の両方を学び、その後、実業界に身を投じ、経済と経営に通暁するにつれ、法律に対する精確な認識が不可欠なことをあらためて確信しました。

金澤博士は、知識基盤社会の到来を予測して、学ぶ意欲を持ち、そのための努力を惜しまない者すべてに門戸が開かれた高等教育の実現に向けて尽力し、1971年1月27日、学校法人大阪経済法律学園を設立し、同年4月、大阪府八尾市に経済学部と法学部の2学部からなる大阪経済法科大学を開設しました。

本学園は、建学の理念を、「学校法人大阪経済法律学園寄附行為」

前文に、次のように定めています。

『創立者金澤尚淑博士は、「経済と法律が社会の両輪であり、この二つの学問を修めることによって無類の人格を形成することができる。」との信念に従い、万人に開かれた高等教育の実現を目指し、幾多の苦難を乗り越えて、一九七一年（昭和四十六年）に学校法人大阪経済法律学園を設立した。本学園は、創立者の建学の理念に基づき、広く知識を教授し、実践の中から真理を探究する実学の精神を持った人材の育成を行うとともに、教育研究を通じて人権の伸長と国際平和に貢献することを使命とする。』

#### 本学の教育目的

本大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の理念に基づいて、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性と国際感覚にあふれた独創的で実践力に富む人材を育成し、もって社会の発展と平和に貢献することを使命とする。（学則第1条）

#### 経済学部教育目的

経済学部は、経済学及び経営学を中心とする幅広い専門知識とその実践的応用能力を授け、グローバル化する現代社会の諸課題に創造的に対応できる人材の育成を目指して、教育研究を行う。（学則第2条第2項）

#### 法学部教育目的

法学部は、基礎的な法学教育を土台として、法と政治についての高度な専門知識を授け、正義と公平を旨とするリーガルマインドをもって現代社会の諸課題に積極的に取り組む市民の育成を目指して、教育研究を行う。（学則第2条第3項）

### 平成22年度大学機関別認証評価結果で（財）日本高等教育評価機構より大学評価基準を満たしていることが認定されました。

大阪経済法科大学は、財団法人日本高等教育評価機構による平成22年度大学機関別認証評価を受審し、平成23（2011）年3月25日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されました。認定期間は、平成22（2010）年4月1日から平成29（2017）年3月31日までの7年間です。

評価結果は、財団法人日本高等教育評価機構のホームページに公表されています。

平成16（2004）年4月より、すべての大学、短期大学及び高等専門学校は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況に関し、政令で定める7年以内（専門職大学院は5年以内）に一度、文部科学大臣が認証する認証評価機関の実施する認証評価を受けることが義務付けられました。（学校教育法第109条の2）

ホームページ ▶ <http://www.jiheer.or.jp/>

### 2010年度各種資格・検定試験等合格実績

大阪経済法科大学では、学生の将来の目標や関心、進路に応じて効率的に学べるコース制とともに、難関国家試験や公務員採用試験、大学院・法科大学院進学、各種資格検定試験などの合格を目指す講座の充実を図っています。今年度もこうした取組の中、学生たちのたえまぬ努力により、大学院・法科大学院・公務員・各種資格試験合格者が、数多く誕生しました。

| 法科大学院・大学院（31名） |                 |  |
|----------------|-----------------|--|
| 大阪大学法科大学院      | 近畿大学法科大学院       |  |
| 同志社大学法科大学院     | 神戸学院大学法科大学院     |  |
| 立命館大学法科大学院     | 大阪大学大学院経済学研究科   |  |
| 関西学院大学法科大学院    | 滋賀大学大学院経済学研究科   |  |
| 関西大学法科大学院      | 和歌山大学大学院経済学研究科  |  |
| 大阪市立大学法科大学院    | 筑波大学大学院人文社会研究科  |  |
| 甲南大学法科大学院      | 兵庫県立大学大学院経営学研究科 |  |
| 明治学院大学法科大学院    | 桃山学院大学大学院経営学研究科 |  |
| 岡山大学法科大学院      |                 |  |

## 八尾駅前キャンパス 2012年春 近鉄八尾駅前に誕生！

八尾駅前キャンパスでは、「Proactive Academia」（行動するアカデミア）を理念として、最先端の教育設備と最新の教育メソッドを導入し、新しい学びのスタイルを生みだします。

「プロフェッショナル教育」、「キャリア形成教育」、「対話型少人数教育」、「地域連携実践型教育」という4つの教育コンセプトに基づいた実践的な学びを通して、実学教育をさらに進化させます。

### プロフェッショナル教育

#### より実践に近い学びと、充実した資格支援プログラムで、社会で即戦力として活躍できる力を育成

本学が目指すのは、「職業人として成熟した真にプロフェッショナルな人材の育成」。そのため新キャンパスでは、「資格・専門職に強い」という特色をさらに強化します。難関資格・試験合格を目指すSコース（特修講座）専用の講義室・演習室を用意し、学習環境を充実させるほか、弁護士・公認会計士など専門家による授業の開設、市民法律相談や法律事務所インターンシップへの参加など、実践的な教育の場を充実させます。

### キャリア形成教育

#### 自分の力で考え、行動する力が身に付き、キャリア教育科目と徹底した就職サポート

今社会が大学に求めているのはキャリア形成教育の充実。つまり社会に出て即戦力として活躍できる職業意識と知識を持った人材の育成です。新キャンパスでは、最先端のICT設備やアクティブラーニング教室等を活用することで「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」を高める様々なキャリア形成教育を実施します。また交通至便なアクセス環境を活かして、就職活動を支援するキャリアセンターとしての役割を果たします。

### 対話型少人数教育

#### コミュニケーションと学ぶ意欲を活発にする最新設備と双方向教育

新キャンパスでは少人数教育を徹底するために大講義室は一切設置せず、フレキシブルな教室設計とICTを駆使した授業の充実により、教員との双方向性を重視し、学生がアクティブに授業に参加できる環境を構築します。最先端のICT設備と工夫された学びの仕組みを組み合わせて、より学習効果の高い環境を生みだし、高度情報化社会の中で活躍できる人材を育成します。

### 地域連携実践型教育

#### 八尾の街全体がキャンパスという発想で企業、地域社会と学生・大学の交流の機会を増やす

大阪市に隣接していることもあり、多くの企業が拠点を構えるなど、都市機能が集中している近鉄八尾駅前。その便利なロケーションを活かして、街全体をキャンパスとして位置付け、企業や地域社会と大学が連携した取組を活性化させます。フィールドワークや経営実践など体験型プログラム、インターンシップなど、実践的な学習プログラムのほか、市民講座や法律相談など、地域に貢献する取組も積極的に展開します。



## New Topics

キャンパスニュース

## 八尾市役所に「東北地方太平洋沖地震」義援金を届けました。

4月13日(水)、学友会執行委員会、体育会本部、文化会本部からなる学友会3団体が、東北地方太平洋沖地震義援金募集活動で集めた義援金を田中誠太八尾市長に手渡しました。今回の義援金募集活動は、3団体の学生たちが中心となり、被災地域の日も早い復興支援を目的に実施されたものです。3月18日の卒業式を皮切りに、入学式や新入生歓迎祭、また近鉄八尾駅周辺での街頭募金活動では、多くの学生、教職員、父母・保護者、八尾市民の方々から、ご支援・ご協力をいただくことができました。集められた義援金は、八尾市を通じて、被災地へ届けられます。

(左から、佐藤学生部長、瀬戸執行委員会渉内外局員、西川文化会本部長、田中八尾市長、松本執行委員会副委員長、大西体育会副本部長)



## 平成23年度小野奨学会奨学生優秀者表彰を受賞しました。

公益財団法人小野奨学会平成23年度奨学生優秀者表彰式が、5月26日(木)、大阪市内で行われ、高上晃輔さん(経済・3年)が、本学から初めて同賞を受賞しました。小野奨学会が行っている奨学金事業は、小野薬品工業株式会社が大学教育の普及と俊才の養成を目的に実施している給付奨学金制度です。

今回の表彰は、同財団から奨学金を給付されている大阪府下の大学に在籍する学生たちを対象に、平成22年度の学業成績優秀者及び課外活動優秀者の皆さんに贈られました。

## ◆高上晃輔さんの声◆

「このような表彰式に参加するのが初めてだったので、とても緊張しましたが、医学部や薬学部など、違う分野の学生たちとも懇親を深めることができ、大変良い刺激になりました。また、表彰式では一人ひとりが壇上に上がり自己紹介をするなど、貴重な経験をすることができました。今回の受賞を励みにして、これからも勉学にがんばっていききたいと思います。」



(左から高上さん、久保井小野奨学会理事長)

## リュウ・ジェ選手が関西学生選手権大会で初の栄冠に輝きました。

第80回関西学生選手権大会が、5月27日(金)～29日(日)の3日間、ベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市)で開催され、本学卓球部所属のリュウ・ジェ選手(経済・3年)が、近畿大学や立命館大学、神戸松蔭女子学院大学などの強豪を退け、見事女子シングルス部門で優勝を果たしました。また、女子ダブルス部門においても、平澤祥子選手と景山麻衣選手(ともに経済・4年)のペアが、龍谷大学などを破り、3位入賞という好成績を収めました。

## ◆リュウ・ジェ選手のコメント◆

「今回、このような成績を残すことができたのは、常に強気で攻めることができたからだと思います。また、去年の敗戦の悔しさをバネに練習した成果をしっかりと出すことができ、本当に良かったです。何より優勝することができたのは、監督やチームメートの支えがあったからだだと思います。」



(左からリュウ選手、景山選手、平澤選手)

## テコンドー部が、世界を舞台に活躍しています。

韓国・春川で開催される「第8回春川オープン国際テコンドー選手権大会2011(7月14日～7月19日)」に、本学テコンドー部の三橋佑樹選手(経済・2年)が、日本代表として58kg級に出場します。三橋選手は、昨年のアジア大会や今年4月に開催された世界テコンドー選手権大会に出場を果たしており、世界レベルでの活躍が期待されています。また、同選手の弟で本学テコンドー部の三橋洸介選手(法・2年)は、今年8月に中国・深圳で開催される第26回ユニバーシアード競技大会の日本代表選手に内定し、世界の檯舞台での勇躍が期待されています。ユニバーシアード競技大会は、別名「学生のオリンピック」と呼ばれ、国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する全世界の学生の総合競技大会で2年に一度開催されています。



(左から三橋佑樹選手、三橋洸介選手)

## OB・OG Activity Report

活躍する卒業生

本学卒業生として  
初の首長、  
濱田剛史高槻市長誕生！  
“日本一住みやすい、  
市民が楽しく  
快適に過ごせる  
まちづくり”を目指す！



本学在学中は、ユースホステル部の仲間と全国各地を旅行したり、文化会本部の役員として各種イベント企画に奔走し、充実した学生生活を送っていたという濱田市長。また、高校時代から始めた趣味のギターは、今でも1日に1回は欠かさず弾いていて、学生時代はその腕前を経法祭で披露したこともおありだとか。検事・弁護士という法曹としての華麗なキャリアをお持ちなので、学生時代にはさぞかし学業にも励まれたのではないかと思います。「勉強のほうはどうでしたか？」とおうかがいしたところ、意外にも「勉強は二の次でした。大阪経済法科大学は、好きなことを好きにやらせてくれる

大学だったので、やりたいことに没頭したあつという間の4年間でした。」とのことでした。

今号では、本学での学生生活の後、検察官、弁護士という法曹の道を歩み、去る4月24日の高槻市長選挙で見事初当選を果たした濱田剛史市長から、今後の市政運営に対する意気込みを中心に、在学当時の様子から、法曹時代、選挙活動中のエピソード、校友へのメッセージなど、本学卒業生として初の首長となった濱田高槻市長についてご紹介いたします。(今後の市政運営については、高槻市ホームページや朝日新聞2011年5月30日号「新市長に聞く」をご参照ください。)

## 濱田剛史高槻市長プロフィール

1964年 大阪府八尾市生まれ  
1987年 大阪経済法科大学法学部卒業後、民間企業に就職するも司法試験合格を目指す  
1993年 5回目の挑戦で司法試験に合格  
1996年 大阪・山口・東京・千葉地検の検事を歴任  
少年犯罪や贈収賄事件などを担当

2002年 大阪地方検察庁検事退官後、弁護士へ  
大阪市内に濱田剛史法律事務所を開業  
大阪経済法科大学法学部客員教授をはじめ将来の法曹人養成のために教鞭を取る  
2010年 高槻市公正職務審査委員会として行政に関わる  
2011年 第20代高槻市長に就任

# OB・OG Activity Report

活躍する卒業生

## ジョギング中の“都市計画プランづくり”から“濱田高槻市長”が誕生

昔

からまちづくりのことなどについて考えたりすること

が好きでした。また、都市計画や、そのような類の本もよく読んでいました。現在も趣味でジョギングを続けていますが、市長になる前から、街を見ながら、なぜこんな場所にマンションが建っているのか、なぜこの店はつぶれたのか、ここのガードレールの補修工事は街の人に委託したらもっといいのではないのかなど、いろんなまちづくりについて構想しながらジョギングするのが、とても好きでした。



そうした中で、今回の市長選への立候補の話が重なり、日頃漠然とやってみていたと想っていた仕事が実際にできるかもしれないことになり、ぜひともやってみたいと考え、思い切って立候補することになりました。また、法曹として仕事を始めてからは、悲しい人や不幸な人たちを数多く目にしてきました。そういう人たちと出会うことは本当に忍びないものでした。検察官、弁護士という職業は、すでに起こってしまった出来事に対して、何らかの対応をするようになりますが、残念ながらそれでは悲しい人や不幸な人たちが生まれることを防ぐことができませんでした。

罪を犯した人さえ、どうしてこんなことをしてしまったのかと後になって後悔するケースが多いのです。そうなった原因は、もちろん半分以上は本人の責任なのですが、残りの部分は社会の歪みや不条理な出来事など、本人の責任とは言い難い部分があるのも事実です。そうした不幸な人たちをどうにかしてなくすことができないものかと、ずっと人知れず悩んできました。今回市長選に当選することができ、市民が楽しく快適に過ごせる、日本一住みやすいまちづくりを行っていきたくと考えています。

## 市民感覚を持った行政を実現し、市長としての責務を全うする

高

槻市の予算は、一般予算と特別予算を合わせ、約2千億円もの税金を取り扱うことになります。予算査定やいろんな会議等を通じて、行政と市民、自分自身の間には、金銭感覚のギャップがあるということを実感させられました。

少額であっても予算は予算。予算の出所は、税金です。つまり市民のお金だという認識を強く持つ必要があり、そういった感覚を行政に浸透させていければと思います。住みやすいまちづくりを実現するためにも難しい挑戦ではありますが、行政と市民の感覚を少しずつでも縮めていきたいと思います。

36万人の市民の声は待ったなしです。日々刻々と変化する社会情勢の中で生まれる声の一つひとつに応えることは決して容易なことではありませんが、“日本一住みやすいまちづくり”を実現するためには、市民一人ひとりの声に正面から向き合わなければならないと感じています。

自らが市民感覚で、市民と同じ目線で物事を考え、一人でも多くの

市民が笑顔で毎日過ごすことができるようなまちづくりをしていくことが、私に与えられた責務です。自分の意思で最終決断を下すことは、大きなプレッシャーともなりますが、よりよい市政の実現のため、皆さんの期待に精一杯応えていきたいと思います。

## 公約実現という“遅くてもしっかりと根を張って咲く花”こそが市民に求められている

選

挙活動中に、農家の方とお話をした際に、とても印象に残る話をしていただきました。その地域では、昔、淀川が氾濫して大洪水になったことがあるのだそうです。その時、その農家の方がそれまで何十年という時間をかけ、何代にもわたって精魂込めて作り上げてきた畑が、一瞬にしてすべてダメになってしまい、また一から土を育てて、畑を作り上げなくてはならなくなったというお話をされたのですが、そのお話の中で、その方は私に一票を入れるつもりだと言われました。

それは、今までの歴代市長の業績を継いでもらうために、あなたに一票を入れるんだということなのですが、実は行政も農業と一緒にすることなんです。高槻の歴代市長が、コソコソと行政という土を肥やすために一生懸命やってきたことと、農家の方々が洪水からコソコソと何十年もかけてようやく良い作物ができるようになってきたことも同じことなんです。それを長続きさせることが、行政にとっても、畑にとっても重要なことなんだと私に伝えたかったのだと思います。最近の政治家は、市民にとって聞こえのいい、いろんな派手なことを声高に叫んでいるので、「一瞬で咲く花」は派手できれいいに見えるかもしれないが、それで終わってしまったはいけないということなんです。「過去の高槻市政の業績をしっかりと引き継いで、これから発展させると公言しているから、私はあなたを支援します」と言っていた時に、行政におけるパフォーマンスは、瞬間的なものであってはいけないのだと肝に銘じました。選挙戦で勝利を収めることが、決して私のゴールではありません。私には、派手なパフォーマンスはありませんでしたが、必ず公約は実行してみせるという誰にも負けない強い決意がありました。何よりも大切なことは、長期間確実にコソコソ継続していくことです。聞こえのいいスローガンや華々しいパフォーマンスではなく、行政で本当に必要なのは、その街のためになることを実際に行うということです。

支援者の方からいただいた今回の言葉は、本当に心に響くものがあり、苦しい選挙活動中の励ましの言葉となりました。



弁護士時代の濱田市長

## 公務員としての誇りと夢を持って、より良いまちづくりを実現する

公

務員というのは、民間企業とまではいかないですが、それに近い意識を持って仕事をしていただく必要があると考えています。いま公務員に対する社会からの風当たりは、皆さんもご存じの通り、相当強いものがあります。そういった現状をすべてしっかりと受け止めることができれば、行政という仕事は市民の幸せを守る本当にやりがいのある仕事なので、公務員としての誇りと夢を持って、より良いまちづくりに貢献できればと思います。

高槻市においても、市民だけでなく、公務員も含めて努力する人が報われる市政を実現するとともに、民間企業と同じような意識や感覚で、まちづくりについても若い職員でも、年配の職員でも、いろんな職員がいろんなアイデアを出し合って、議論できるような職場になればと思っています。

## 市長としての“単純素朴な正義”

“単

純素朴な正義”、これは私が司法修習生時代に、検察教官から教えていただいた言葉で、検察官になろうと決意した一言です。何が正義なのかという問題もあるのですが、「これは何かおかしいんじゃないか」という単純で素朴な気持ちを常に持ち続けることで、物事の持つ重要性や優先順位などを的確に判断できる能力を養うことができました。

“単純素朴な正義”、この言葉は高槻市長となったこれからも、私の心の中では大事にしていきたい言葉の一つです。

## 取材後記（濱田高槻市長へのインタビューを終えて）

“市

長”、“弁護士”、“元検察官”というキーワードから想像していた寡黙で気難しいという先入観と、私自身が初めてインタビュー取材を行うということもあって、お会いする直前までとても緊張していました。しかし、実際にお会いして取材を行ってみると、取材前に抱いていたとは全く異なる「親しみやすい濱田先輩」だということに気づき、すっかり安心して取材させていただきました。インタビューが始まったのに、緊張しすぎてなかなか言葉が出てこない後輩の私を見るに見かねて、「濱田先輩」が「校友一年生」の私を「逆取材」する一幕もありました。

今回の取材で最も印象に残ったことは、市長・法曹という社会的ステータスの高いキャリアをお持ちの濱田市長が、学生時代は全力で自分の好きなことに打ち込んでいたところや、市長を志したきっかけでした。自分の目指す対象が何であろうとも、そのきっかけは自分の日常生活の中のちょっとしたところに潜んでいるのだということに気づかされ、「目からウロコ」の連続でした。また、同窓の先輩としての「自分にはできないなんて思わないで」という言葉に励まされ、自分がこれから何を目指すにしても遅くはないのだと感じました。今回の取材を通じて、日々の見過ごしてしまいそうなきっかけに気づき、それに真摯に向き合うことができた人が自分を成長させ続けることができるのだなと思いました。

（五島由加里／学生課・法学部37期生）

## 諦めた時点で夢や目標は叶わない 努力し続けることで道は拓かれる

校

友の皆様には、今回、高槻市長として託された責務を全うできるよう精一杯頑張っていきますので、今後とも応援していただければと思います。また、高槻市在住の校友の方からも声をかけていただいたり、母校の皆さんに来ていただいたのは、本当に心強かったです。

在学生の皆さんには、毎日暗いニュースばかりが飛び交っているように感じますが、暗い話がない時代はありません。このような時代だからこそ、皆さんの多様な可能性を実現するために、何事にも積極的に取り組んでほしいと思います。自分がやりたいと思ったことは、最後までやり通してください。大学生でも70歳になっても「自分にはできない」で、決して終わらせないでください。年齢がいくつであっても、「できないと思うにはまだ早い。」そういう気持ちを持ち続けてください。

私もそのようにして、いままで自分自身を奮い立たせてきました。継続してきた努力というのは、必ず実を結びます。大学卒業後、民間企業に就職した私にとって、法曹への長い道のりはゼロからのスタートでした。挫折感に苦しんだこともありましたが、自分を信じ、精一杯努力した結果、目標にしていた法曹になることができました。高い志を持って、前進し続けてください。私も、皆さんの努力が報われる社会づくりに、精一杯取り組んでいきたいと思っています。



# Project Report 1

事業報告1



## 桜満開の花岡キャンパスで、女性校友の集いを開催しました。

4月10日(日)、2月に竣工したばかりの学生ホール棟「クロノス」で、第4回女性校友の集いが開催され、25名の卒業生、在学生が参加しました。

当日は、クロノス1階キャンパスレストランで、昼食を取った後、2階カフェラウンジに場所を移し、用意されたたくさんのケーキやお菓子を囲み、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

今回の女性校友の集いは、初めて本学での開催となったため、クロノス3階イベントホールガリオンや本部棟、ふれあい池などのキャンパス見学ツアーも実施され、新しく様変わりしたキャンパスに参加した校友たちも驚いていました。

最後は、満開の桜を背景に参加者全員で記念撮影が行われ、無事、女性校友の集いを終えることができました。



### ◆参加者の声◆

安田公治副会長・組織部会長(経済学部2期生)

「今回、女性校友の集いに多くの方にご参加いただき、大変嬉しく思います。当日は、天候にも恵まれ、桜満開のキャンパスの中、世代を越えた活発な交流が行われ、本当に有意義で貴重な時間を過ごすことができました。組織部会では、今後もこのような機会を積極的に設け、女性校友同士の交流の場を増やしていきたいと思っています。」

大和望さん(学生課・経済学部36期生)

「私はキャンパス見学ツアーで、在学生とともに案内役をさせていただきました。その際、先輩方から新しく完成したばかりのクロノスだけでなく、以前は本部棟やふれあい池がなかったことを聞き大変驚きました。また、女子学生がとても少なく苦労されたお話や教職員と学生の距離が近く、様々なことについて語りあったことなど、当時の大学の様子を聞くことができました。先輩方のお話は興味深く、楽しい時間となりました。人生の先輩としてたくさんのアドバイスもいただき、とても参考になりました。今回の女性校友の集いに参加して本当によかったと思います。今後も是非、参加していきたいです。」

## 学生ホール棟「クロノス」に竣工記念品を贈呈しました。

花岡キャンパスの新しい人気スポット、クロノスの竣工を記念して、校友会より液晶ディスプレイ(60インチ)を贈呈しました。この液晶ディスプレイは、1階東側ホール(インフォメーションアトリウム)正面に設置され、イベント情報や各部署からの連絡、政治・経済情報、学内外の様々な情報が発信されるデジタルサイネージシステムを採用しています。

このデジタルサイネージシステムは、ディスプレイ上に文字情報や動画、静止画、HTML、音声コンテンツなどを自在に組み合わせ、デジタルコンテンツのメリットを最大限に生かした効果的なメッセージの表示が可能となり、学生たちの新たな情報取得ツールとなります。

### ◆学生の声◆

岡田一輝さん(法学部1年生)

「大学に行くに必ず1日に1回は、クロノスに設置されているディスプレイを見るようにしています。いろんな情報が掲載されているので、本当に役立っています。」



(クロノス1階東側エントランスホールに設置された液晶ディスプレイ)

## 「2010年度第5回異文化交流行事(卒業旅行)」に協力しました。

2010年度校友会予算、学生支援費より、学生活動援助費(留学生支援)として、「2010年度第5回異文化交流行事(卒業旅行)」への支援が行われました。今回の支援については、経費支援だけではなく、校友会の李雅光幹事並びに校友会沖縄支部の新里靖副支部長、下地重理沙会員が、留学生と一緒にバスへ同乗し、沖縄の歴史と現在の諸問題や先輩としての経験を留学生に語りかけるなど、交流を深めました。

### ◆参加者の声◆

李雅光幹事(法学部33期生)

「今回の異文化交流行事では、短い時間ではありましたが、沖縄支部副支部長の新里さんと後輩の留学生たちと交流を深めることができ、とても貴重な経験をすることができました。これからも、校友会活動にも積極的に参加していきたいと思っています。」



(新里副支部長(中央下)を中心に記念撮影する卒業生)

## 日本赤十字社を通じて、「東北地方太平洋沖地震」被災地に義援金を届けました。

東 北地方太平洋沖地震により、多くの方々の尊い命が失われたことに深い哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆様やそのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

大阪経済法科大学校友会は、今般、「東北地方太平洋沖地震」の被災地復興支援を目的に、日本赤十字社を通じて、被災地域に義援金(10万円)をお届けしました。

2011年度の校友会総会では、この度の東日本大震災により被災された校友への支援をテーマに、被災校友からのメッセージを紹介するなど、今後の取組の方向性や内容について確認を行います。



(在学生たちの義援金募集活動の様子)

# Project Report 2

事業報告2

## 支部活動報告

### 愛知支部（第6回）と三重支部（第4回）が合同で総会を開催しました。

6月4日（土）、愛知・三重合同支部総会（愛知は第6回、三重は第4回）が、名古屋クラウンホテルで開催されました。

合同支部総会では、中町愛知支部支部長、中須三重支部支部長の挨拶が行われた後、前吉常任幹事より、2011年度校友会事業計画及び活動の現況報告が行われました。続いて西澤常任幹事より、7月30日開催の第13回校友会総会・懇親会と母校の近況について説明が行われました。また、両支部の共通課題として、「支部総会への参加者をいかにして増やすか」について論議が行われ、現在つながりが深くなってきている役員同士の連携をさらに密にしながら、支部総会の開催時期・場所や参加費等の検討、地域支部の存在を卒業式やキャンパスの日常で準会員（在学生）にアピールしていく必要性について確認されました。

支部総会終了後、同ホテルの「菊の間」において開催された懇親会では、初めて参加したという岐阜県在住の校友や愛知支部の設立総会以来、久しぶりに参加したという校友もおられ、和やかな雰囲気の中、互いの親睦を深めました。



### 第11回香川支部総会を開催しました。

2月26日（土）、高松市内の「喜代美山荘・花樹海」にて、第11回香川支部総会が開催されました。

総会では初めに、石塚支部長より開会の挨拶が行われた後、第6期香川支部役員改選についての提案があり、承認されました。

その後、石山幹事より、学生ホール棟「クロノス」の竣工や、2012年の八尾駅前キャンパス開校、学生の就職内定状況など、大学の近況報告が行われ、続いて中津常任幹事より、資料に基づき、2010年度校友会事業報告及び2011年度校友会事業計画（案）について、石塚支部長より2011年度支部活動について説明があり、活発な意見交換が行われました。

懇親会は、上田支部会計監査の乾杯の音頭に始まり、終始和やかな雰囲気の中進められ、互いの近況などを話し合いました。



#### 地域支部一覧

|      |                                                                                 |               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 東京支部 |                                                                                 |               |
| 支部長  | 宮松 久浩 伊藤忠ウインドウズ(株)                                                              | 9期生／1982年度卒業  |
| 連絡先  | TEL:072-941-8268(校友会事務局)                                                        |               |
| 愛知支部 |                                                                                 |               |
| 支部長  | 中町 守人 (有)中町印刷                                                                   | 1期生／1974年度卒業  |
| 連絡先  | 〒547-0802 名古屋市中南区要町5-86 TEL:052-612-0120                                        |               |
| 石川支部 |                                                                                 |               |
| 支部長  | 山下 浩希 (株)山下ミツ商店 代表取締役                                                           | 10期生／1983年度卒業 |
| 連絡先  | 〒920-2501 石川県白山市白峰イ-23<br>TEL:076-259-2024 FAX:076-259-8024                     |               |
| 三重支部 |                                                                                 |               |
| 支部長  | 中須 秀治                                                                           | 1期生／1974年度卒業  |
| 連絡先  | 〒519-3204 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島2311-1<br>TEL:090-7311-6382 E-mail:nakasu@ztv.ne.jp |               |
| 岡山支部 |                                                                                 |               |
| 支部長  | 樋上 有司 (有)R&BAUHAUS東和 代表取締役                                                      | 4期生／1977年度卒業  |
| 連絡先  | 〒700-0912 岡山市大供表町2-26 TEL:070-5525-9441                                         |               |

|      |                                                                            |              |
|------|----------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 香川支部 |                                                                            |              |
| 支部長  | 石塚 央                                                                       | 6期生／1979年度卒業 |
| 連絡先  | 〒763-0072 丸亀市山北町529-1 TEL:090-5144-7096                                    |              |
| 高知支部 |                                                                            |              |
| 支部長  | 小橋 光生                                                                      | 1期生／1974年度卒業 |
| 連絡先  | 〒780-0064 高知市和泉町11-16<br>TEL:090-8971-0040 E-mail:cobaty@kxa.biglobe.ne.jp |              |
| 広島支部 |                                                                            |              |
| 支部長  | 栢田 博昭                                                                      | 3期生／1976年度卒業 |
| 連絡先  | TEL:072-941-8268(校友会事務局)                                                   |              |
| 福岡支部 |                                                                            |              |
| 支部長  | 力武 英登                                                                      | 7期生／1980年度卒業 |
| 連絡先  | TEL:072-941-8268(校友会事務局)                                                   |              |
| 沖縄支部 |                                                                            |              |
| 支部長  | 具志堅 充彦                                                                     | 8期生／1981年度卒業 |
| 連絡先  | 〒904-2214 具志川市字安慶名309 TEL:098-972-3388                                     |              |

### 日商簿記検定試験2級直前対策講座と入学前教育の開催に協力しました。

2010年度校友会予算、学生支援費より、学生活動援助費(学習支援／学生の資格取得支援等)として、エクステンションセンター主催「日商簿記検定試験2級直前対策講座」及び教務課主催「2011年度入学前教育「スクーリング」における卒業生の講演・個別相談会開催への財政支援を行いました。

今回の講演には、藤原弘介氏と長秀一氏(経済学部25期生・JA職員)にご協力をいただきました。(写真は講師を務める藤原弘介氏)

#### ◆卒業生の声◆

藤原弘介氏(法学部23期生・PL学園高等学校教諭)

「入学前教育の一環で実施されたスクーリングで、将来、「教師」を目指す入学予定の学生達と出会う機会がありました。実際に教壇に立つ立場として、また、OBとしても同じ職業を目指して取り組んで頂けることは嬉しい限りです。入学後は、皆さんが抱く目標に向かって充実した大学生活を送ってください。」



### 卒業生祝賀祭の開催に協力しました。

第37回卒業式終了後、2月に竣工したばかりの学生ホール棟「クロノス」1階キャンパスレストランで、校友会執行委員会との共催で卒業生祝賀祭「謝恩会」を開催しました。

学生支援企画の一つとして開催された謝恩会は、在学生支援を充実させることで、大学生活を応援するとともに、校友会の存在意義を伝え、あわせて卒業後の校友会事業への参画意識の醸成を図ることを目的に、実施されました。

#### ◆執行委員長の声◆

金垣弘幸さん(経済学部4年・校友会執行委員会委員長)

「校友会の支援を受け、立派な謝恩会を開催することができ、卒業生や父母・保護者の方にも大変満足していただけたと思います。今後とも、学生団体へのご支援、ご協力の程お願いします。」



#### Topics

村林新吾氏(経済学部9期生)が、教育、調理、執筆等、多方面で活躍しています。

本学卒業生の村林新吾氏(経済学部9期生)を主人公のモデルにしたドラマ「高校生レストラン」が、日本テレビ系列で放送され、高い人気を博しています。

村林氏は、現在、三重県立相可高校の教諭として務めており、同校の顧問を務める調理クラブの生徒たちが運営する全国唯一の高校生レストラン「まごの店」(三重県多気町)は、全国地産地消優良活動表彰事業(農林水産省所管)の特別賞受賞をはじめ、数々の全国料理コンクールにて入賞・優秀な成績を収めています。また、村林氏自身も、文部科学大臣優秀教員表彰をはじめ多くの賞を受賞され、社会的にも高い評価を受けており、過去にはテレビ番組「情熱大陸」などでも紹介されています。

絶賛放送中のドラマ「高校生レストラン」は、調理クラブで顧問を務める村林氏自身の体験を基につづった著書「高校生レストラン、本日も満席。」(伊勢新聞社)などが原案になっており、同氏の役柄は、人気アイドルグループTOKIOの松岡昌宏さんが演じています。是非一度ご覧ください。



# Fact Data

2010年度決算・2011年度予算報告

## 2010年度 大阪経済法科大学校友会決算書

| 収入の部        |            |            |            |        | (単位:円) |  |  |  |  |
|-------------|------------|------------|------------|--------|--------|--|--|--|--|
| 項 目         | 予 算 額      | 執 行 額      | 差 異        | 執行率(%) |        |  |  |  |  |
| 1.校友会費      |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 準会員         | 12,755,000 | 12,495,000 | 260,000    | 98.0%  |        |  |  |  |  |
| 正会員         | 500,000    | 640,000    | △140,000   | 128.0% |        |  |  |  |  |
| 特別会員        | 200,000    | 300,000    | △100,000   | 150.0% |        |  |  |  |  |
| 2.総会・懇親会参加費 | 600,000    | 555,000    | 45,000     | 92.5%  |        |  |  |  |  |
| 3.受取利息      | 7,500      | 2,710      | 4,790      | 36.1%  |        |  |  |  |  |
| 小計          | 14,062,500 | 13,992,710 | 69,790     | 99.5%  |        |  |  |  |  |
| 前年度繰越金      | 11,244,894 | 11,244,894 | 0          | 100.0% |        |  |  |  |  |
| 収入の部合計      | 25,307,394 | 25,237,604 | 69,790     | 99.7%  |        |  |  |  |  |
| 支出の部        |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 項 目         | 予 算 額      | 執 行 額      | 差 異        | 執行率(%) |        |  |  |  |  |
| 1.総会        |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 総会等運営費      | 2,300,000  | 2,192,175  | 107,825    | 95.3%  |        |  |  |  |  |
| 会議費         | 0          | 46,912     | △46,912    | —      |        |  |  |  |  |
| 印刷製本費       | 80,000     | 80,000     | 0          | 100.0% |        |  |  |  |  |
| 旅費交通費       | 600,000    | 726,440    | △126,440   | 121.1% |        |  |  |  |  |
| 通信費         | 1,400,000  | 1,510,900  | △110,900   | 107.9% |        |  |  |  |  |
|             | 4,380,000  | 4,556,427  | △176,427   | 104.0% |        |  |  |  |  |
| 2.幹事会       |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 会議費         | 500,000    | 337,943    | 162,057    | 67.6%  |        |  |  |  |  |
| 旅費交通費       | 500,000    | 388,320    | 111,680    | 77.7%  |        |  |  |  |  |
|             | 1,000,000  | 726,263    | 273,737    | 72.6%  |        |  |  |  |  |
| 3.支部活動等支援   |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 会議費         | 500,000    | 558,852    | △58,852    | 111.8% |        |  |  |  |  |
| 旅費交通費       | 600,000    | 704,760    | △104,760   | 117.5% |        |  |  |  |  |
| 活動援助費       | 400,000    | 359,641    | 40,359     | 89.9%  |        |  |  |  |  |
| 支部設立準備費     | 100,000    | 0          | 100,000    | 0.0%   |        |  |  |  |  |
| 父母懇談会協力費    | 250,000    | 186,826    | 63,174     | 74.7%  |        |  |  |  |  |
|             | 1,850,000  | 1,810,079  | 39,921     | 97.8%  |        |  |  |  |  |
| 4.会報・広報     |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| リーフレット      | 0          | 0          | 0          | 0.0%   |        |  |  |  |  |
| 印刷製本費       | 1,400,000  | 1,434,825  | △34,825    | 102.5% |        |  |  |  |  |
| 通信費         | 1,500,000  | 1,335,887  | 164,113    | 89.1%  |        |  |  |  |  |
| 報酬委託手数料     | 300,000    | 382,158    | △82,158    | 127.4% |        |  |  |  |  |
|             | 3,200,000  | 3,152,870  | 47,130     | 98.5%  |        |  |  |  |  |
| 5.学生支援      |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 卒業記念品費      | 700,000    | 672,000    | 28,000     | 96.0%  |        |  |  |  |  |
| 卒業祝賀企画費     | 800,000    | 649,000    | 151,000    | 81.1%  |        |  |  |  |  |
| 経法祭支援費      | 900,000    | 727,368    | 172,632    | 80.8%  |        |  |  |  |  |
| 学生活動援助費     | 1,350,000  | 898,029    | 451,971    | 66.5%  |        |  |  |  |  |
|             | 3,750,000  | 2,946,397  | 803,603    | 78.6%  |        |  |  |  |  |
| 6.共通・事務費    |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 印刷製本費       | 100,000    | 101,543    | △1,543     | 101.5% |        |  |  |  |  |
| 消耗品費        | 100,000    | 28,053     | 71,947     | 28.1%  |        |  |  |  |  |
| 通信費         | 400,000    | 474,127    | △74,127    | 118.5% |        |  |  |  |  |
| 報酬委託手数料     | 20,000     | 7,040      | 12,960     | 35.2%  |        |  |  |  |  |
| 人件費         | 1,200,000  | 1,069,812  | 130,188    | 89.2%  |        |  |  |  |  |
| 渉外費         | 50,000     | 0          | 50,000     | 0.0%   |        |  |  |  |  |
| 雑費          | 50,000     | 54,007     | △4,007     | 108.0% |        |  |  |  |  |
|             | 1,920,000  | 1,734,582  | 185,418    | 90.3%  |        |  |  |  |  |
| 7.周年事業      |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
| 大学周年事業協力費   | 500,000    | 500,000    | 500,000    | 100.0% |        |  |  |  |  |
|             | 500,000    | 500,000    | 500,000    | 100.0% |        |  |  |  |  |
| 8.予備費       |            |            |            |        |        |  |  |  |  |
|             | 100,000    | 100,000    | 0          | 100.0% |        |  |  |  |  |
|             | 100,000    | 100,000    | 0          | 100.0% |        |  |  |  |  |
| 小計          | 16,700,000 | 15,526,618 | 1,173,382  | 93.0%  |        |  |  |  |  |
| 次年度繰越金      | 8,607,394  | 9,710,986  | △1,103,592 | 112.8% |        |  |  |  |  |
| 支出の部合計      | 25,307,394 | 25,237,604 | 69,790     | 99.7%  |        |  |  |  |  |

## 2010年度 事業実施結果

| 開催日                | 行 事                                                |
|--------------------|----------------------------------------------------|
| 4月 3日(土)           | 2010年度入学式                                          |
| 4月16日(金)           | 第4回東京支部総会・懇親会                                      |
| 5月15日(土)           | 第1回2010総会・懇親会実行委員会                                 |
| 5月29日(土)           | 第1回常任幹事会                                           |
| 6月 5日(土)           | 第1回幹事会                                             |
| 6月19日(土)           | 愛知・三重合同支部総会・懇親会                                    |
| 6月26日(土)           | 父母懇談会懇親会支援(高知)<br>第7回高知支部総会・懇親会                    |
| 6月27日(日)           | 父母懇談会懇親会支援(高松)<br>父母懇談会懇親会支援(那覇)                   |
| 7月 3日(土)           | 父母懇談会懇親会支援(岡山)<br>父母懇談会懇親会支援(広島)<br>第10回沖縄支部総会・懇親会 |
| 7月10日(土)           | 第2回2010総会・懇親会実行委員会                                 |
| 7月24日(土)           | 第12回校友会総会・懇親会<br>臨時幹事会<br>第5回全国支部長会議               |
| 8月21日(土)           | 第8回広島支部総会・懇親会                                      |
| 8月28日(土)           | 第3回2010総会・懇親会実行委員会                                 |
| 9月11日(土)           | 第9回岡山支部総会・懇親会                                      |
| 10月 2日(土)          | 第1回企画部会                                            |
| 10月16日(土)          | 第2回常任幹事会                                           |
| 11月 6日(土)<br>7日(日) | 第39回経法祭支援事業(模擬店参加等)                                |
| 11月19日(金)          | 第1回組織部会                                            |
| 1月13日(木)           | 校友会プロジェクトチーム会議                                     |
| 1月22日(土)           | 第3回常任幹事会                                           |
| 2月19日(土)           | 第4回常任幹事会                                           |
| 2月25日(金)           | 学生ホール棟(クロノス)竣工記念品贈呈                                |
| 2月26日(土)           | 第11回香川支部総会・懇親会                                     |
| 3月18日(金)           | 2010年度卒業式<br>卒業記念品・卒業祝賀祭支援事業                       |
| 3月19日(土)           | 第2回組織部会<br>第3回幹事会                                  |
| 3月26日(土)           | 第9回石川支部総会・懇親会(予定)                                  |

## 2011年度 大阪経済法科大学校友会予算書

| 収入の部        |                 |                  |            |       | (単位:円) |  |  |  |  |
|-------------|-----------------|------------------|------------|-------|--------|--|--|--|--|
| 項 目         | 2010年度<br>予 算 額 | 2011年度<br>予算額(案) | 差 異        | 増 比   | 減 率    |  |  |  |  |
| 1.校友会費      |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 準会員         | 12,755,000      | 10,985,000       | △1,770,000 | —     | 13.9%  |  |  |  |  |
| 正会員         | 500,000         | 500,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 特別会員        | 200,000         | 200,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 2.総会・懇親会参加費 | 600,000         | 600,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 3.収益事業      | 0               | 100,000          | 100,000    | —     | —      |  |  |  |  |
| 4.受取利息      | 7,500           | 900              | 6,600      | —     | 11.9%  |  |  |  |  |
| 小計          | 14,062,500      | 12,385,900       | △1,663,400 | —     | 11.9%  |  |  |  |  |
| 前年度繰越金      | 11,244,894      | 10,403,815       | △841,079   | —     | 7.5%   |  |  |  |  |
| 収入の部合計      | 25,307,394      | 22,789,715       | △2,517,679 | —     | 9.9%   |  |  |  |  |
| 支出の部        |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 項 目         | 2010年度<br>予 算 額 | 2011年度<br>予算額(案) | 差 異        | 増 比   | 減 率    |  |  |  |  |
| 1.総会        |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 総会等運営費      | 2,300,000       | 1,955,000        | △345,000   | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
| 印刷製本費       | 80,000          | 80,000           | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 旅費交通費       | 600,000         | 600,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 通信費         | 1,400,000       | 50,000           | △1,350,000 | —     | 96.4%  |  |  |  |  |
|             | 4,380,000       | 2,685,000        | △1,695,000 | —     | 38.7%  |  |  |  |  |
| 2.幹事会       |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 会議費         | 500,000         | 500,000          | 0          | 0%    | 0%     |  |  |  |  |
| 旅費交通費       | 500,000         | 500,000          | 0          | 0%    | 0%     |  |  |  |  |
| 部会活動費       | 0               | 100,000          | 100,000    | —     | —      |  |  |  |  |
|             | 1,000,000       | 1,100,000        | 100,000    | 10.0% | 10.0%  |  |  |  |  |
| 3.支部活動等支援   |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 会議費         | 500,000         | 500,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 旅費交通費       | 600,000         | 600,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 活動援助費       | 400,000         | 400,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 支部設立準備費     | 100,000         | 50,000           | △50,000    | —     | 50.0%  |  |  |  |  |
| 父母懇談会協力費    | 250,000         | 200,000          | △50,000    | —     | 20.0%  |  |  |  |  |
|             | 1,850,000       | 1,750,000        | △100,000   | —     | 5.4%   |  |  |  |  |
| 4.会報・広報     |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 印刷製本費       | 1,400,000       | 960,000          | △440,000   | —     | 31.4%  |  |  |  |  |
| 通信費         | 1,500,000       | 1,500,000        | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 報酬委託手数料     | 300,000         | 300,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
|             | 3,200,000       | 2,760,000        | △440,000   | —     | 13.8%  |  |  |  |  |
| 5.学生支援      |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 卒業記念品費      | 700,000         | 500,000          | △200,000   | —     | 28.6%  |  |  |  |  |
| 卒業祝賀企画費     | 800,000         | 500,000          | △300,000   | —     | 37.5%  |  |  |  |  |
| 経法祭支援費      | 900,000         | 900,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 学生活動援助費     | 1,350,000       | 900,000          | △450,000   | —     | 33.3%  |  |  |  |  |
|             | 3,750,000       | 2,800,000        | △950,000   | —     | 25.3%  |  |  |  |  |
| 6.共通・事務費    |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 印刷製本費       | 100,000         | 85,000           | △15,000    | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
| 消耗品費        | 100,000         | 85,000           | △15,000    | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
| 通信費         | 400,000         | 340,000          | △60,000    | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
| 報酬委託手数料     | 20,000          | 17,000           | △3,000     | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
| 人件費         | 1,200,000       | 1,200,000        | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 渉外費         | 50,000          | 42,500           | △7,500     | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
| 雑費          | 50,000          | 42,500           | △7,500     | —     | 15.0%  |  |  |  |  |
|             | 1,920,000       | 1,812,000        | △108,000   | —     | 5.6%   |  |  |  |  |
| 7.周年事業      |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
| 大学周年事業協力費   | 500,000         | 500,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
|             | 500,000         | 500,000          | 0          | 0.0%  | 0.0%   |  |  |  |  |
| 8.予備費       |                 |                  |            |       |        |  |  |  |  |
|             | 100,000         | 50,000           | △50,000    | —     | 50.0%  |  |  |  |  |
|             | 100,000         | 50,000           | △50,000    | —     | 50.0%  |  |  |  |  |
| 小計          | 16,700,000      | 13,457,000       | △3,243,000 | —     | 19.4%  |  |  |  |  |
| 次年度繰越金      | 8,607,394       | 9,332,715        | 725,321    | 8.4%  | 8.4%   |  |  |  |  |
| 支出の部合計      | 25,307,394      | 22,789,715       | △2,517,679 | —     | 9.9%   |  |  |  |  |

## 2011年度 事業計画のポイント

### ●総会

- ・開催場所をクロノス(学生ホール棟)とする。
- ・会報に総会案内を同封することを前提に、開催時期を検討する。
- ・具体的な内容等については、従来通り実行委員会を結成し、必要な準備を進める。

### ●幹事会

- ・各機能の強化をテーマとした常任幹事会と専門部会を開催する。
- ・女性校友の集いを実施・運営する。

### ●支部活動

- ・本部との連携、財政事情、既存事業(父母懇談会支援等)との関連を考慮した支部活動を展開する。
- ・各支部の2011年度事業計画案を作成する。
- ・位置づけ・役割等を踏まえた全国支部長会議を開催する。

### ●会報・広報

- ・会員のニーズ把握に努め、編集方針を明確に打ち出し、誌面の充実に努める。
- ・総会案内を会報に同封することを前提に、発行時期を検討する。
- ・ホームページ、学内掲示板等を有効活用し、会員向けの宣伝機能を充実させる。
- ・2011年度の会報・広報事業案について検討する。

### ●学生支援

- ・学生活動援助費の執行にあたっては、各事業主体(校友会内実行委員会、大学担当部署、学生団体等)からの提案内容に基づき、常任幹事会で事前に企画を精査し、より効果的な事業執行となるようにする。

### ●周年事業

- ・ホームカミングデー、経法祭支援等、創立40周年記念事業について、所管機関等を明らかにした上で審議を進める。
- ・その他の事業(支部活動、会報・広報、学生支援)との関連性について担当機関等との連携を図り、検討を進める。

### ●その他

- ・常任幹事会において調査・検討が必要と認められたテーマについて、2012年度内に結果を報告する。
- ＜テーマ例＞
- ・各種情報提供をはじめとした会員サービスの向上に関して
- ・校友会内の各機関の今後のあり方、校友会の事業執行機能の強化について
- ・学生ニーズ、財政事情を踏まえた校友会としての学生支援事業のあり方について
- ・積立金制度の導入、会費未納者への対応等をはじめとした、財政事業に関する取組について 等

## 第7期 大阪経済法科大学校友会役員

|      |        |              |    |
|------|--------|--------------|----|
| 顧問   | 藤本 和貴  | 夫            | 学長 |
| 副会長  | 伴井 敬司  | 2期生          |    |
|      | 安田 公治  | 2期生          |    |
|      | 八瀬 林 肇 | 6期生          |    |
| 常任幹事 | 能塚 正義  | 副学長/キャリア支援部長 |    |
|      | 阪本 公治  | 4期生          |    |
|      | 北垣 義弘  | 7期生          |    |
|      | 前吉 克明  | 8期生          |    |
|      | 中村 和義  | 9期生          |    |
|      | 姜 公 晴  | 12期生         |    |
|      | 中津 広志  | 13期生         |    |
|      | 三戸 泰樹  | 20期生         |    |
|      | 澁田 博之  | 20期生         |    |
|      | 出口 寛   | 22期生         |    |
|      | 山内 綾   | 29期生         |    |
|      | 町田 朋佳  | 33期生         |    |
|      | 佐藤 雅美  | 学長補佐/学生部長    |    |
|      | 山中 雅登  | 事務局長代理/庶務課長  |    |
|      | 橋本 久   | 法学部教授        |    |
|      | 丸井 龍夫  | 図書課長         |    |

|    |       |              |  |
|----|-------|--------------|--|
| 幹事 | 羽牟 勝規 | 学生課長代理       |  |
|    | 西澤 三夫 | キャリア支援課参事/主幹 |  |
|    | 橋本 堅  | 1期生          |  |
|    | 勝部 恒夫 | 5期生          |  |
|    | 政宗 正章 | 8期生          |  |
|    | 濱田 剛史 | 13期生         |  |
|    | 溝上 容子 | 13期生         |  |
|    | 柴田 剛  | 14期生         |  |
|    | 宮本 英浩 | 17期生         |  |
|    | 江川 充彦 | 17期生         |  |
|    | 長崎 寛親 | 18期生         |  |
|    | 山下 博将 | 19期生         |  |
|    | 矢野 正憲 | 21期生         |  |
|    | 小林 保恵 | 22期生         |  |
|    | 高岡 恵  | 24期生         |  |
|    | 石山 陽浩 | 25期生         |  |
|    | 濱田 亜紀 | 27期生         |  |
|    | 森治 直利 | 28期生         |  |
|    | 吉田 隆顕 | 31期生         |  |
|    | 池邊 江美 | 32期生         |  |

|      |        |              |  |
|------|--------|--------------|--|
| 支部長  | 富山 源太郎 | 32期生         |  |
|      | 李 雅光   | 33期生         |  |
|      | 岡本 香葉子 | 35期生         |  |
|      | 勝 英雄   | 学生部副部長/教養部教授 |  |
|      | 梁 官 洙  | 経済学部教授       |  |
|      | 高岡 幸一  | キャリア支援課長代理   |  |
|      | 安東 浩俊  | 会計課長代理       |  |
|      | 金城 栄昌  | キャリア支援課係長    |  |
|      | 小橋 光生  | 1期生(高知支部)    |  |
|      | 中町 守人  | 1期生(愛知支部)    |  |
|      | 中須 秀治  | 1期生(三重支部)    |  |
|      | 栢田 博昭  | 3期生(広島支部)    |  |
|      | 石塚 央   | 6期生(香川支部)    |  |
|      | 力武 英登  | 7期生(福岡支部)    |  |
|      | 具志堅 充彦 | 8期生(沖縄支部)    |  |
|      | 宮松 久彦  | 9期生(東京支部)    |  |
|      | 山下 浩希  | 10期生(石川支部)   |  |
|      | 樋上 有司  | 4期生(岡山支部)    |  |
| 会計監査 | 鍛冶屋 佳美 | 5期生          |  |
|      | 福井 和夫  | 6期生          |  |

## 新常任幹事メッセージ

校友会では、この春より5名の教職員・校友を新たに常任幹事として、お迎えいたしました。新常任幹事から、それぞれ今後の抱負などについてお聞きしました。



### 中村和義さん(経済学部9期生)

常任幹事には、幹事と違った役割が求められると思うので、今後は、自らの考えや意見を積極的に伝え、大阪経済法科大学と校友会のますますの発展のために行動していく心構えです。



### 山内綾さん(法学部29期生)

今回、校友会常任幹事に就任しました山内綾です。まだ新参者ではありますが、今後も多くの方に校友会活動を知ってもらい、参加してもらえるようがんばっていきたく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



### 佐藤雅美学生部長(法学部教授)

この4月から、学生部長に就任し、校友会常任幹事として活動させていただくことになりました。学生への支援はもちろん、校友会の皆様とも連携を図りながら、校友会の発展と学生支援の充実に努めていきたいと思います。



### 澁田博之さん(法学部20期生)

この度、校友会常任幹事を務めさせていただきます20期生澁田博之です。私にとって校友会の仕事は、会報・HPで多くの校友の活躍している姿を皆さんにお伝えしてゆき、校友の輪を広げていければと思っています。校友会の皆様、是非ご協力いただけますようお願い申し上げます。



### 町田朋佳さん(法学部33期生)

この度、新たに常任幹事となりました町田朋佳です。校友会は、校友の皆さんのご協力があってこそ発展していきます。若輩者ですが、ますます校友会を盛り上げるため、力を尽くしたいと思っています。何卒、宜しくお願いいたします。

## 【校友会Q&A】

### Q. 校友会費20,000円を納めたかどうか知りたいのですが？

A. 下記の校友会事務局まで、電話又はFAX、e-mailでお問い合わせください。また、校友会費20,000円は、年会費ではなく終身会費となっています。1度会費を納めていただいている場合は、会費納入の必要はありません。

※注意:2001年以降の入学生(編入生を除く)については、在学中に校友会費を委託徴収しておりますので、会費納入の必要はありません。また、2003年度以降に入学した編入生については、卒業後に、委託徴収金の残額10,000円を納入する必要があります。

### Q. 卒業証明書・成績証明書を発行してほしいのですが？

A. 卒業証明書・成績証明書の発行を希望される場合は、郵送(教務課宛)又は教務課窓口にてお申し込みいただくことができます(電話やFAX、メールでの申し込みはできません)。詳しくは、大学ホームページ「各種申請書・願・届(卒業生の証明書)」をご参照ください。

※個人情報保護の観点から、証明書の発行には、本人確認をさせていただく必要があります。

### Q. 「東京麻布台セミナーハウス」「琵琶湖セミナーハウス」「阪南キャンパス」など、大学の所有する施設を利用できますか？

A. 校友会費を納めていただいている会員については、大学の行事、学生の課外活動等を優先の上で、日程が空いていれば利用することができます(有料)。

## 【事務局だより】

### ●村林新吾氏(経済学部9期生)が入試説明会で特別講演を行います。

絶賛放送中のテレビドラマ「高校生レストラン」で、主人公のモデルとなった本学卒業生・村林新吾氏が、2012年度入試説明会(7月6日(水)・ホテルモントレグラスミア大阪)で特別講演を行います。今回の入試説明会は、第1部の特別講演会及び2012年度指定校推薦試験、公募制推薦試験の概要説明、第2部の個別相談会で構成されており、同氏には1部の特別講演会に引き続き、2部の個別相談会にもご参加いただく予定です。村林氏に関する記事を13ページに記載していますので、ご参照ください。

### ●2011年度各地方支部総会が開催されます。

6月の愛知・三重合同支部総会を皮切りに、2011年度各地方支部総会が順次開催されています。各支部総会の開催案内については、別途お送りしますので、会員の皆さまは是非ご参加ください。

### ●校友会事務局のFAX番号が変更になりました。

この度、校友会事務局のFAX番号が、以下のとおり変更になりましたのでお知らせします。

072-941-8268(変更前) ▶ 072-941-1510(変更後)